

カミガモシダ

Asplenium oligophlebium

チャセンシダ科

カテゴリー

大分県 IB

環境庁 掲載なし

シダ植物



日本固有種の常緑性シダ植物。ヌリトラノオによく似ているが、それより小形で、葉は長さ10～20cm、小羽片の幅が細く、切れ込みが深い。岩上に着生し、葉の先端に無性芽をつけて殖える。京都府や兵庫県では、やや普通に分布しているが、その他の地域での分布はまれである。本県では「国東地区」だけで生育地が確認されており、^{へんきゅうあんざんがん}変巧安山岩（プロピライト）の岩上に比較的多くの個体がみられる。生育地は道路に隣接しているため、拡幅工事などが行われれば消滅してしまう可能性が大きい。

（写真・文：辻 寛文）

県内分布 国東地区

分布域 本州（新潟・岐阜県以西）、四国、九州（福岡・佐賀・長崎・大分・鹿児島）